

”ペデジャーなる”Web

OB・OGと現役生を結びながら、懐かしさと新しさ香るつくばの風を、季節の便りとしてお届けしていきます。

ペデジャーナル2016秋

2016年11月18日



筑波大学メールマガジン“ペデジャーなる” 2016年11月-秋号

—OB・OGと学生を結びながら、懐かしさと新しさ香る筑波の風を季節の便りとしてお届けしていきます。



1. 第20回松美記念を観戦しました
 - 雙峰祭きっての汚れ企画が2年ぶりの開催です。
2. つくばで楽しむ紅葉
 - つくばで見られる紅葉の景色をご紹介します。
3. 筑波の隠れ家的学食に迫る! ～本部棟レストラン～
 - 本部棟に人知れず存在していると噂の食堂に行ってきました。
4. ドリップコーヒーはいかがですか。
 - 寒さ深まる季節に、筑波大学からコーヒーをどうぞ。
5. ねっとりなめらか焼き芋
 - 話題の焼き芋についてご紹介します。
6. 筑波大学と箱根駅伝

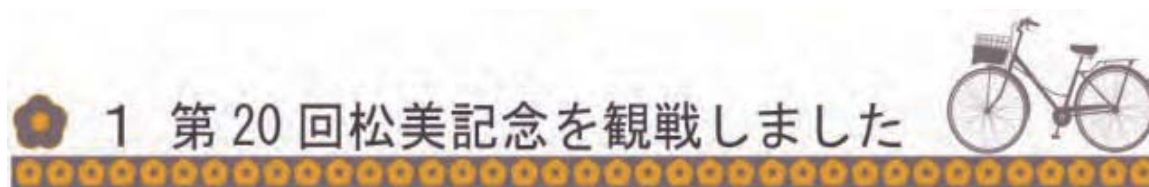
一 箱根駅伝に過去62回の出場を誇る一方で、近年は予選突破に苦しむ筑波大学。復活の道はあるのか？

7. 松美公園名物紹介

一 松美公園の名物をご紹介します。

8. ツクバネコスナップ 第八回

一 私たちの隣人、ツクバネコの生態に迫ります。



つくばではつかの間の秋が過ぎ、肌寒さを感じるこのごろですが、みなさまいかがお過ごしでしょうか。

筑波大学では11月4—6日にかけて第42回雙峰祭が行われました。今年は天候に恵まれ、多くの企画・展示が大学全体を盛り上げていました。今回は、その中でも6日に行われた名物企画、社会学類有志が主催する「第20回松美記念」の観戦記をお届けいたします。

「松美記念」とは、第一エリアに隣接する松美池の中を社会学類生が馬に扮して疾走するレースです。今回で20回目の開催ということもあり、社会学類の受験案内冊子にもその様子が掲載されるほど筑波大生にとっては馴染みのある企画です。

ただ単に松美池を走るだけではなく、社会学類らしく(?)学生それぞれが最近社会を騒がせた人物・出来事をテーマにしたパフォーマンスを披露するのも見所のひとつになっています。

社会学類に所属する私も過去に2回松美記念の運営に携わったことがありますが、毎年5月頃に企画を申請し、雙峰祭を迎えるまで長い準備期間を経て企画作りを行っています。去年は企画の申請を忘れてしまうというミスで開催が見送られてしまいましたが、今回は無事に開催の運びとなりました。



では早速、当日の様子をお伝えしたいと思います。

6日午後、開始時間20分ほど前から、会場の松美池ステージには多くの人が集まってきました。ステージ周辺では緑の法被を着た社会学類生が「競馬新聞」(左写真)を配布しています。これは一般的な競馬新聞のように、本戦に出場する各馬の特徴などを詳細に掲載しています。

それぞれの馬の名前は最近話題になった人物や出来事になぞらえられており、これを元に参加者は一着と二着を連番で予想して、馬券をもらうことができます(もちろん無料です)。

当たり馬券は出店で割引券として使えるという特典も付いていました。

そしていよいよ松美記念が始まりました。まずは1年生が出走する「新馬戦」です（左写真1枚目）。全員白い馬面に白いTシャツ、下は黒タイツで臨みます。今年は例外として、昨年松美記念がなかったために新馬戦に出場できなかった2年生も登場しました。



その後新馬たちは一斉にスタート地点に並び、合図とともに出走しました。この時間帯はまだ陽が出ていたとはいえ、かなり寒そうです。また、松美池の底に溜まっている悪名高いヘドロに足をとられる新馬も多数いました。このヘドロは臭いも強烈で、松美池ステージの最前列近くにいっても臭ってきていました。ちなみに、写真後方に写っている緑の法被姿の学生は昨年の松美記念の実行委員長になる予定だった学生で、昨年開催できなかったお詫びの意味もあるのか、なぜか一緒に走っています。



その後本戦に進める1着の新馬が決まり、本戦が始まりました。

本戦では競馬新聞の掲載順に各馬の紹介とパフォーマンスが行われました。左写真はすでにパフォーマンスが終了し、全員集合している様子で

すが、姿だけでも誰がどの人物や出来事になぞらえているか想像が付きやすいかと思います。



どの馬も体を張っていますね。本戦では、各馬に▽豆を20粒箸で別の皿に移動させてから出走する▽冷蔵庫を持ちながら出走する▽5人6脚で出走する……などのハンデが課せられます。

そして見事優勝したのは6番の「ゴリゴリゴー」です。今年大流行したポケモンGOになぞらえて、ピカチュウとサトシに扮した学生がほかの馬を引き離し勝利を掴みました。

優勝したピカチュウの頭には金の馬面が贈呈されています。

優勝した馬に送られるのは金の馬面と「松美池1周のウィニングラン」。このあと直ぐにピカチュウは松美池に飛び込んで行きました。



今回の松美記念では、卒業した社会学類の先輩も多く来場されていました。雙峰祭きっての汚れ企画ですが、それだけ思い出深く、愛されている企画なんだと感じました。みなさんも来年はぜひこの松美記念に足を運んでみてはいかがでしょうか。私もまた来年開催されると信じて見に行きたいと思います。

社会・国際学群社会学類4年 新田萌夏



秋も一段と深まり、肌寒い日が続きますが、読者の皆さまはいかがお過ごしでしょうか。秋と言えば紅葉。美しい紅葉の景色を見に遠出される方もいらっしゃると思います。そこで今回は、つくば市で楽しめる紅葉をご紹介します。

～ 筑波山で見られる紅葉 ～



筑波山にて(参考HPより)

つくばと言えば筑波山。男体山、女体山の2峰からなる筑波山は、標高の低い日本百名山の1つです。山頂から御幸ヶ原にかけてブナをはじめとした落葉広葉樹が多く、11月上旬から紅葉を楽しむことができます。関東では有名な紅葉名所の1つです。筑波山には、登山コースのほかに、ケーブルカーやロープウェイで登る方法もあります。このケーブルカーやロープウェイからは紅葉の景色を一望することができます。

また、筑波山では、『筑波山もみじまつり』というイベントが開かれています。期間は、11月1日（火）～11月30日（水）です。開催期間中はおもじのライトアップとケーブルカーの夜行運転、餅つき大会とつきたて餅のサービスなど様々なイベントが行われています。この開催期間に合わせて、筑波山の紅葉も見に行かれてはいかがでしょうか。

……と、ここまでご紹介しておきながら、実は私は紅葉の季節に筑波山に登ったことがありません。大学生のうちに、一度は筑波山の紅葉を見てみたいと考えています！

〈参考HP〉

観光いばらき http://www.ibarakiguide.jp/db-kanko/mt_tsukuba.html

筑波山ケーブルカー&ロープウェイ <http://www.mt-tsukuba.com/?p=2559>

～筑波大学で見られる紅葉～

木々が生い茂る我らが筑波大学でも紅葉を楽しむことができます！ 広大な面積を持つ筑波大学では、学生は自転車で移動することがほとんどです。私は自転車で通学しながら、大学内の木々の色が緑、黄、赤と移り変わっていくのを見て、秋の訪れを感じています。

大学内で、私が特におすすめしたい場所はバスや自動車を通るループ道路です。ループの両脇には木々が並び、秋には美しい紅葉が見られます。

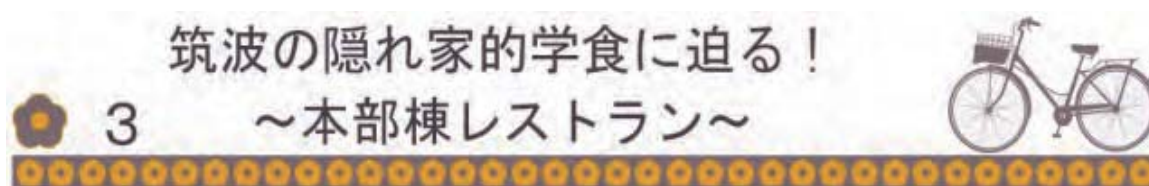


写真は11月上旬に撮影したものです。この頃はまだ黄色と緑が混ざっており、完全に紅葉しているというわけではありませんが、これはこれで綺麗でした。写真を撮ったときは少し曇っていましたが、快晴の日には空に葉の色が映

えてより美しくなります。私はさらに紅葉が進んだ時期に、紅葉を見にループを散歩しようと考えています。紅葉は観光地だけではなく、身近な場所でも楽しめるものなのですね！

筑波大学OBOGの方も、この紅葉を楽しめる時期にぜひ筑波山や筑波大学を訪れてみてください！ ここまで読んでいただき、ありがとうございました。

人文・文化学群比較文化学類3年 金久保響子



暦の上ではもう冬ですがペデジャーなるは秋号ということで、秋といえば“食欲の秋”！ そこで今回は知る人ぞ知る筑波大学の隠れた名店、「本部棟レストラン」についてご紹介したいと思います。

存在を知らないまま卒業していく筑波大生も多いであろうこの「本部棟レストラン」があるのは、筑波大学本部棟の一階。本部棟は第二エリアのバス停「筑波大学中央」の目の前にある建物です。一階の入り口からまっすぐ進んだところに見える喫茶店風の小さな青い看板が目印です。



(この赤茶色の建物が本部棟です。)



(奥の青い看板を曲がります。)

お店の前にはメニューが写真付きで表示されていて、そこで料理を選びます。値段設定は500〜700円前後で他の学食と比べると若干高く感じるかもしれませんが、サラダやスープなどがついているので満足度も高いですよ！



店内はレトロで落ち着いた雰囲気。4人掛けのテーブルが11席と2人掛けのテーブルが5席の

小さなお店ですが、満席ではなかったのですぐに座れました。場所柄のためか、お客さんは学生よりも大学の職員の方が多い印象でした。注文は入り口のカウンターで行い、会計は食前・食後どちらでもOKなようです。他の学食とは違い料理は店員さんがテーブルまで運んでくれます。

私は本日のおススメ定食「若鶏の南蛮漬け（タルタルソース添え）」（600円）を注文しました。料理の提供時間はお昼時だったこともあり20分弱くらいとゆっくりめでしたが、その分揚げたてで衣サクサクのチキンが食べられたので幸せでした。サラダ・スープ・冷奴までついてボリュームも満点です。



筑波大にいる間に一度は行ってみたかった「本部棟レストラン」ですが、落ち着いた雰囲気でおいしいご飯が食べられる素敵な学食でした。日替わりランチ以外にもおいしそうなメニューが色々あったので近々リピート

しようと思います。

OB・OGの皆様も筑波を訪れた際には足を運ばれてみてはいかがでしょうか？

<営業時間>

11:00～14:00（月～金）

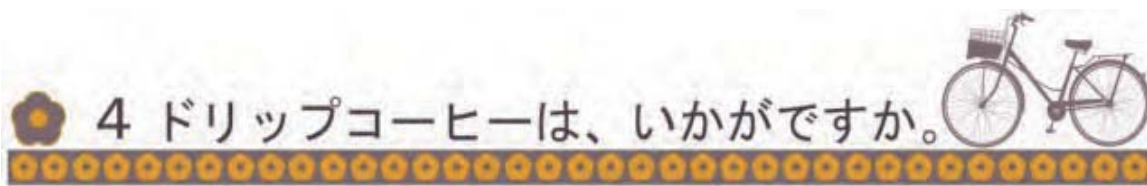
17:00～ 団体予約

<公式HP>

筑波大学厚生会ホームページ

http://www.tsukuba-koseikai.com/store/store_41

人文・文化学群比較文化学類3年 助川まりえ



いよいよ各種論文の締め切りが迫る中、夜遅くまで図書館で勉強する学生が増えてきたように感じます。館内のスターバックスでもコーヒー片手に勉強する学生を多く見かけます。皆様におかれましても、日々の休憩にホットコーヒーを飲むことが多いのかもしれませんが。

眠気覚ましに効くだけでなく、いれたてのコーヒーからただよう湯気の香りにはいつもほっとします。私がコーヒーを好きになったのはごく最近ですが、香りも味も豆で全く違うんですね。色々試してみたいので、みなさまのおすすめをぜひ教えていただきたいです。

さて、前置きが少し長くなってしまいました。今回はこれを読んでくださっているコーヒー好きの方に、筑波大学からコーヒー情報をお届けいたします。というのも、筑波大学はこの秋からコーヒーを販売しているんです！

なんで大学がコーヒー販売を？

と思った方、このコーヒーのことを知った私と同じ気持ちです。こちらのコーヒー、「筑波大学アリアンサエステートコーヒー」といまして、ブラジルのアリアンサ農園から届いております。この農園の持ち主は石川ナレットさん、筑波大学と協定を結んだサンタ・クルス病院の理事長です。筑波大学のグローバル戦略ではブラジル共和国との結びつきを強めていて、サンパウロにサテライトオフィスが開設されたばかりです。つまり、ブラジルのアリアンサ農園から来たこのコーヒーは、筑波大学とブラジルの友好のあかしとも言えましょう。こだわりはもう一つ、こちらのコーヒーのパッケージは芸術系准教授の原忠信先生がデザインしたものです。スタイリッシュだけれど、どこか温かみのあるパッケージに仕上がっています。

では、どちらでこのコーヒーを買えるのかといいますと、株式会社サザコーヒーと提携し、つくば市内のサザコーヒー2店舗で販売中です。同社は、茨城県に本社を置き1969年創業時より、「おいしいコーヒー」にこ

だわった販売と店舗運営を行っている会社です。本店はひたちなかにあり、創業以来茨城県を中心にコーヒーのおいしさを届け続けています。

ありとあらゆるところに、つくばらしさが詰まったこのコーヒー、上記の2店舗で一杯550円のほか、コーヒー豆（200g）が1,300円、お湯を入れるだけで手軽に飲むことができるドリップコーヒー（9個入り）1,300円で販売されています。つくばに来るときに楽しめるだけではなく、お土産としても喜ばれる一品となっています。さて、せっかくなのでドリップコーヒーを試飲してみましょう。



写真左のドリップコーヒーを淹れてみました。

じつは個包装タイプのドリップコーヒーをいれるのは初めてなので、少しドキドキ。レッツトライ！まずは袋を開け、挽いたコーヒー豆が入ったドリップパックを取り出します。中身が飛び出ないように、きちんとふたが閉じられているのですね。次に、お湯をいれます。溢れないようにそーっと。お湯を注いだとたんに、コーヒーの香りがします！

抽出されたお湯がぼたぼた垂れているのを待つのもいい時間ですね。癒されます。この動作を3回ほど繰り返して完成です。

さっそくですが、飲んでみましょう。酸味もなく飲みやすいお味ですが、しっかりとした苦みもあります。入れたてのコーヒーのにおいも相まって、ほっとするお味です。これなら、これから待ち受ける期末レポートも頑張れるかもしれません。いや、頑張ります。皆様も、ぜひ忙しい日々の合間にコーヒーのある生活を送っていただければと思います。コーヒーと一緒に休憩時間は、いつもより素敵なものになるかもしれません。寒さが深まる秋にぜひ、筑波大学のコーヒーはいかがでしょう。

社会・国際学群国際総合学類4年 寺尾侑子

5 ねっとりなめらか焼き芋



段々と肌寒い季節になってきましたが、皆さまはいかがお過ごしでしょうか。今回は食欲の秋ということで、本年2月の冬号でつくばのお土産の一つとして紹介いたしました、つくばの焼き芋について詳しくご紹介します。

つくばのキュートの1階には「蔵出焼き芋かいつか」という焼き芋屋さんがあります。

さつま芋に特化している芋問屋の焼き芋専門店で、オリジナルブランド“紅天使”焼き芋や芋スイーツを展開しています。ご贈答や茨城のおみやげとしても人気で、筑波大生もよく買っているようです。実は、「紅天使焼き芋



特蔵(1kg箱)1,000円」は、2015年4月2

3日に放送された「黄金伝説 日本全国！行列のできる即日完売グルメBEST10／2015春 最新版U字工事」で、第3位に「1日1000箱完売！新感覚の熟成焼き芋」としてランクインしています！

お店には焼き芋以外にも、焼き芋プリンや焼き芋ロールケーキなどおいしそうなスイーツがたくさん売られていました。迷いに迷いましたが、私は「夢ひらく」と「紅天使」をそれぞれ2本ずつ買いました。1g1円の量り売りで、値段は1075円でした。



最初に「夢ひらく」を食べました。「夢ひらく」の品種名は「シルクスweet」で、種苗販売が開始されたばかりの新しい品種です。メディアでも話題になっています。実際に食べてみると、甘味が少なく、水気が多くて滑らかな食感でした。



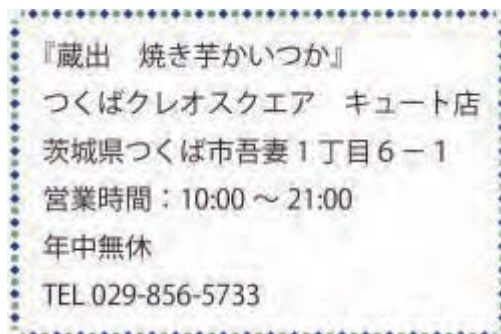
次に、「紅天使」を食べました。ねっとりとした食感で、甘さが濃厚でした。さつまいもから甘い蜜が出てきて、病みつきになるおいしさでした。焼き芋の「理想」の味です。



最後に、それぞれの焼き芋にバニラアイスを乗せて食べました。焼き芋の熱でアイスが程よく溶けて、口の中でお芋とアイスが混ざってとても美味しかったです。

「紅天使」とアイスの組み合わせも美味しかったのですが、私は甘味の少ない「夢ひらく」とアイスの組み合わせが気に入りました。

冷凍した焼き芋を半解凍して焼き芋アイスとして食べたり、焼き芋と牛乳をミキサーで混ぜれば、焼き芋ラテやお芋ジャムにもなるようです。今度挑戦してみようと思います。皆さんも焼き芋を食べて秋を味わってみてください。



生命環境学群生物資源学類3年 深作歩美

6 筑波大学と箱根駅伝 古豪復活なるか

早いもので、年越しが近づいてきました。お正月の風物詩の一つに、箱根駅伝がありますね。卒業生のみならずの中には、筑波大学が第1回大会での優勝や、過去62回の出場を誇る強豪校だった歴史をご存知の方もいらっしゃるかと思います。しかし、残念ながら近年は、1994年を最後に出場できていません。

筑波大は2011年に「筑波大学箱根駅伝復活プロジェクト」を立ち上げ、本選出場を目指してチーム強化を進めています。今後、筑波大がお正月にたすきをつなぐ可能性はあるのでしょうか？ 筑波大と箱根駅伝の歴史や最近の取り組み、今年の予選結果などをまとめました。

*筑波大学と箱根駅伝

箱根駅伝は1月2日と3日に、東京・大手町から箱根を往復する道のりを1チーム10人の選手が走り、そのタイムを競う大会です。関東圏の大学、約20校が出場できます。このうち、10校は前年度の大会で10位以内に入った大学がシード校として出場し、残りの枠は秋に行われる予選会で決まります。

箱根駅伝の創設には、実は筑波大学が深く関わっています。筑波大の前身にあたる東京高等師範学校のOBで、日本の「マラソンの父」と呼ばれた金栗四三（かなぐり・しろう 1891-1983年）氏が構想し、早稲田大・慶応大などに呼び掛けて1920年に始まったのが箱根駅伝なのです。金栗氏は当時、東京高等師範学校の教員でも



▲プロジェクトの応援サイト。
応援メッセージや寄附も受け付けています。

あり、第1回大会は同校が総合優勝を果たしています。

その後も筑波大は、本選に合計62回出場。しかし、1994年の第70回大会への出場を最後に、近年は予選を突破できずにいます。

＊「筑波大学箱根駅伝復活プロジェクト」

かつての栄光を知る卒業生らの強い要望を受け、筑波大は2011年に「箱根駅伝復活プロジェクト」を開始。本選出場を目指してチーム強化に力を入れています。今年7月には、学生の強化資金を補うために行ったクラウドファンディングで258万円もの寄付を集めており、卒業生らの同プロジェクトへの期待の大きさが窺えます。

＊今年の予選会の結果

2017年の第93回大会への出場を懸けた予選会が、10月15日に東京都・立川で行われました。10位以内で出場権を獲得できましたが、筑波大の順位は49校中24位と、涙をのむ結果となりました。

本選出場校には、私立大学が名を連ねます。今年の予選会の結果も23位までは私立大が占めており、筑波大は国立大としてはトップの成績です。この私立大と国立大の実力差の理由として、箱根駅伝の人気の高まるにつれて、私立大が選手の獲得や練習の強化により多額の資金を投じてきたことが考えられます。国立大でそのような投資をするのは難しく、どうしても選手獲得や練習環境などの面で差が出てしまうのでしょうか。

私は毎年、お正月にテレビで箱根駅伝を見るのを楽しみにしています。かつての「名門校」だった筑波大の姿を知らない世代だからこそ、東京と箱根の間を筑波大のたすきがつながっていく光景を、一度この目で見てみたいです。本選出場を目指すには国立大にとって不利な面があり、厳しい道のりではあるかと思いますが、筑波大の高い技術力や知性を生かせば不可能ではないはず。ぜひ応援していきたいですね！

<参考>

・筑波大学 箱根駅伝復活プロジェクト <http://tsukuba-hakone.win/>

・国立大学 本気の挑戦！古豪・筑波大学箱根駅伝復活プロジェクト

https://readyfor.jp/projects/TSUKUBADAIGAKU_EKIDEN

生命環境学群生物学類4年 添島香苗

7 松美公園名物紹介



筑波大学の近くには、松見公園という場所があります。松見公園は、筑波大学を通る道であるペデストリアンデッキ沿い、つくば駅と学生宿舎が点在するエリアの間に位置している公園です。晴れた日には多くの人々が利用し、広々としたスペースが気持ち良い場所です。学生時代に利用した方や、横を通った方もいるかと思えます。

今回はそんな、散歩や気分転換に訪れるにはぴったりな松見公園について、2つの名物をピックアップして紹介したいと思います。

まず1つ目は、何と言っても公園の目印となる、中心にそびえたつ展望台です。



高さは45メートルあり、有料(大人100円、子供50円)で最上階まで上ることができます。私も今回取材をするにあたり初めて上ってみたのですが、頂上から四方をずっと彼方まで見通すことができ、とても良い眺めでした。筑波大学の並び立つ学群棟と、彼方の筑波山を一緒に見据えるという貴重な体験をすることができます。



展望台の最上階への途中には、「朱門」と「青門」という、対になる2つの鮮やかな壁画もあります。訪れた際には、頂上からの景色と共にぜひ眺めてみてください。

そして、名物の2つ目です。松見公園には、ある生き物が多くいます。

それは何でしょう？ ……正解は、池にいる鯉です。

松見公園では売店で鯉の餌を買うことができ、人々が思い思いに餌をやっています。それが楽しそうだったので、私も早速、鯉に餌をやってみることにしました。



ですが、餌をやり始めて、私は愕然としました。理由は、鯉たちがあまりにも力強いからです。普段から皆が餌をやっているためか、どの鯉もとても体格がよく、その鯉たちが新たな餌を求めて殺到してくるさまは、まるで池の中で格闘技が行われているようでした……。あまりの迫力と水しぶきに、思わず後退してしまうほどです。

そんな、鯉の新たな一面の発見で驚きはしましたが、餌やり自体はとても楽しいものでした。今日、鯉に餌をやるような機会は少ないのではないのでしょうか。ぜひチャレンジしてみたいかがでしょう。

というわけで、今回は松見公園の名物について紹介させていただきました。

松見公園は、展望台だけでなく遊具やベンチ、くつろげる広い芝生も用意されていて、レジャーにはぴったりの場所です。私が公園を周っている間、芝生にシートをひいて談笑する子供連れの家族や、私と同じく鯉に餌をやる老夫婦がいたり、長閑な光景が広がっていました。

季節を問わず気持ち良い場所ですので、つくばに立ち寄った際は、訪れてみてはいかがでしょうか。

これからの季節、ますます寒くなっていくと思うので、お体にはお気を付けください。

それでは、ここまで読んでいただきありがとうございました。

8 ツクバネコスナップ 第八回

前回のツクバネコの記事を書いてから、ずいぶん長い時間が過ぎてしまいました。季節はあっという間にめぐり、つくばには肌寒い十一月の風が吹いています。

【第八回】いつも通りネコ

今回のツクバネコとの出会いは十月半ば、春日キャンパス前の大通り沿いの草むらでのことでした。私は所属する学類の関係上、春日キャンパスに出入りする機会が多かったのですが、キャンパスの近くのこの通りでツクバネコを見つけることができるとは思っていませんでした。ちょうどその時期は卒業研究の中間発表準備が佳境に差し掛かっていて、とても慌ただしい毎日を送っていました。その日も連日の発表資料作成に追われ、疲れた体を引きずりながらの帰路で、いつも何気なく通り過ぎている風景の端に小さな影を見つけました。



小さな影の正体は私たちの隣人、ツクバネコでした。疲れた心を癒してもらおうと近づいてみましたが、やはり気まぐれなツクバネコたち。簡単には触らせてくれません。しかしおかしな話ですが、このいつもと変わらないツクバネコの姿になんとか心をほぐしてもらえたことも事実です。季節はいつの間にか過ぎていきます。二年ほど前、自分がツクバネコの記事を書き始めたときは、卒業研究の準備に奔走する自分を想像する瞬間などありませんでした。しかし二年間分の季節が過ぎ、いつの間にか四年生になっている自分がいます。変わる人もいれば変わらないネコもいる。卒業へ向けてなんとなくざわついていた心を少しだけ落ち着けてもらえた、そんなツクバネコとの出会いとなりました。

情報学群知識情報・図書館学類 4年 大嶋航平



編集後記

ペデジャーなる秋号を読んで下さり、ありがとうございました。

今号では、スポーツの秋、行楽の秋、食欲の秋と、色々な種類の秋に関する記事が揃いました。どれか記事の一つでも、皆さまが秋という季節を感じる一助になれば幸いです。

さて、その記事でもありましたように、筑波大学では11月の初旬に雙峰祭が行われました。私も参加してきましたが、筑波大生はもちろん、遠方から来た方々も大勢いらっしゃるようで賑わっていました。もしかしたら、ペデジャーなるの読者の方でお越しになった方もいるのでしょうか。

今号の執筆はそんな雙峰祭に重なる期間でした。ペデジャーなるでは記事のテーマは各自で用意するため、今回は雙峰祭に関連したものが多めになるかなと思っていたのですが、できあがってみればそんなことはなく、どの記事もつくばの別の良い部分を掬ってくれていると感じました。ペデジャーなるを作成する一人ではありますが、編集していて、一読者としても楽しませてもらっていることを実感します。

早いもので、もうすぐに年末となります。だんだんとつくばは寒くなり始め、今後各地でも本格的な寒さがやってくることでしょう。皆さまも、寒さによる体調不良などと共に、火元の管理や冰雪といった事故にも十分お気を付けください。

それでは、これで失礼いたします。改めて、ここまでペデジャーなる秋号を読んで下さり、ありがとうございました。

情報学群知識情報・図書館学類4年 増田空

お知らせ

<「ペデぶろぐ」について> ペデジャーなるのブログを開設しています。

投稿内容は「ペデジャーなる」の配信に関するお知らせやミーティング風景などなど。「ペデジャーなる」をもっと身近に感じていただけたらと思います。また、ペデぶろぐには連絡フォームもございますので、気軽にご要望や感想も送信することができます。

「ペデジャーなる」とともに「ペデぶろぐ」もよろしくお願ひします。

<http://pedejournal.blogspot.jp/>

🍷 筑波大学のいろいろな取組みのご紹介

<「筑波大学校友会カード」について>

平成27年4月1日から筑波大学公式クレジットカード「筑波大学校友会カード」事業がスタートいたしました！インターネットからもお申込みいただけますので卒業生の皆様もぜひご利用ください！



- ・利用金額の一部が筑波大学基金へ寄附
- ・サービス協力店舗での優待
- ・さらに今申し込まれて平成28年12月31日までに校友会カードが発行された方全員にVJAギフトカード1,000円分を贈呈します。

詳しくは、<https://alumni.tsukuba.ac.jp/cashcard.html>をご覧ください。

<「筑波大学×ボルドー大学オリジナルワイン」について>



筑波大学とフランスボルドー大学の本格的な教育・研究を記念して、昨年度に引き続き、ボルドー大学・フランス国立農業研究所 (INRA) の支援で大学オリジナルワインを開発・販売いたします。ワインボトルラベルは、筑波大学芸術学系の原忠信先生がデザインしたオリジナルラベルです。



詳しくは、http://www.kakuyasu.co.jp/news/feature/201610_tsukuba/?bid=sidebar#breadcrumbsをご覧ください。

<「筑波大学フューチャーシッププレミアム～ふるさと納税大学版～」について>

◆制度内容

対象者・・・ 筑波大学基金へ以下の金額のご寄附をいただいた方(前年度寄付分)

個人 3万円以上 企業 10万円以上



※写真は今年度の商品の例

<「筑波大学アリアンサエステートコーヒー」について>

今回の記事にも掲載されていますがネット販売も行っておりますのでぜひ下記HPもご覧ください。

地域限定
新発売

サザコーヒーが大学と共同開発！
筑波大学
アリアンサ エステートコーヒー

「筑波大学アリアンサエステートコーヒー」
アーモンドやビターチョコの香りと風味。しっかりと
とした甘さが残る後味が印象的なコーヒー。

一杯のコーヒーとともに
懐かしき大学時代に
思いを馳せて・・・

筑波大学学長 永田 恭介氏 × 筑波大学 University of Tsukuba × サザコーヒー会長 鈴木 晋志男

筑波大学はグローバル戦略及び世界展開の一環として、サンパウロ
オフィスを開設するとともに、ブラジル連邦共和国のサンパウロ大学、
サンタ・クルス病院と協定を締結し、ブラジルにおける教職員、学生
の研究・教育交流を深めています。

その記念として、サンタ・クルス病院の石川レナット理事長が所有す
るアリアンサ農園の香り高く、高品質のコーヒーを、茨城県に本社が
ある株式会社サザコーヒーと提携して、10月1日（土）よりつくば市
内のサザコーヒー店舗にて販売しております。
また、サザコーヒーオンラインショップでも販売しております。

パッケージデザイン：原忠信（筑波大学芸術系准教授）

詳しくは、<http://www2.enekoshop.jp/shop/coffee/>をご覧ください。

- 🍎 筑波大学 公式ホームページ: <http://www.tsukuba.ac.jp/>
- 🍎 筑波大学 facebook: <https://www.facebook.com/univ.tsukuba.ja>
- 🍎 筑波大学校友会SNS「KUTTUK ba」: <https://alumni.tsukuba.ac.jp/>

(筑波大学校友会SNS／筑波大学生涯メールアドレス 利用登録募集中!)

- 🍎 編集・発行：「ペデジャーなる」編集ワーキンググループ
- 🍎 デザイン・配信作業：国立大学法人筑波大学連携・渉外室
- 🍎 ご意見・問い合わせ先：国立大学法人筑波大学 連携・渉外室

〒305-8577 茨城県つくば市天王台1丁目1-1

TEL:029-853-2030 FAX:029-853-6576

gakuyu@un.tsukuba.ac.jp

- 🍎 配信停止をご希望の方

下記メールアドレス宛に『配信停止希望』の旨明記し、送信してください。

gakuyu@un.tsukuba.ac.jp

メールマガジンの一部または全部を無断転載することを禁止します。
Copyright © 2014 University of Tsukuba. All Rights Reserved.